

# なみえ 議会だより

2023.11.1  
No. 181

議会HPへアクセスします



試験水田稲刈り



ため池草刈り

復興拠点解除後の営農再開に向けて（室原地区）

## 9月定例会

定例会 議案要旨	..... P 2	委員会活動報告	..... P 16
議案審議	..... P 3 ~ P 4	議会・議長活動報告	..... P 17
採決状況	..... P 5	町民交流会を開催します	..... P 18
一般質問	..... P 6 ~ P 12	政務活動費支出状況	..... P 19
委員会のうごき	..... P 13 ~ P 15	町民の声	..... P 20

## 令和4年度決算

## 総額409億円の成果を認定!

## ■ 令和4年度財政収支の状況 ■

一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入総額409億9,852万1千円(前年比83.1%)、歳出総額391億5,628万6千円(前年比82.3%)で、形式収支は18億4,223万5千円の黒字決算でした。

各会計の形式収支は、一般会計では13億8,500万円、特別会計である文化及びスポーツ振興育成事業会計ほか8会計の合計は4億5,723万5千円となり、各会計とも黒字決算です。

また、一般会計では形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支8億2,046万4千円から前年度実質収支を差し引いた額に、黒字要素である財政調整基金積立金を加えて、積立金取崩し額を差し引いた実質単年度収支は5,537万3千円の黒字決算です。

一方、特別会計全体では実質収支4億4,013万8千円から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は6,930万1千円の黒字となりました。

## 令和4年度一般会計・特別会計歳入歳出決算

(単位：千円)

区 分		一般会計	特別会計	合 計
歳入総額	①	33,423,743	7,574,778	40,998,521
歳出総額	②	32,038,743	7,117,543	39,156,286
歳入歳出差引額(①-②)	③	1,385,000	457,235	1,842,235
翌年度へ繰り越すべき財源	継続費逐次繰越額	79,973	0	79,973
	繰越明許費繰越額	484,563	17,097	501,660
	事故繰越し繰越額	0	0	0
	計	④	564,536	17,097
実質収支(③-④)	⑤	820,464	440,138	1,260,602
前年度実質収支	⑥	628,050	370,837	998,887
単年度収支(⑤-⑥)	⑦	192,414	69,301	261,715
積立金(財政調整基金)	⑧	321,051		
繰上償還金	⑨	0		
積立金取崩し額(財政調整基金)	⑩	458,092		
実質単年度収支(⑦+⑧+⑨-⑩)	⑪	55,373		

## 要旨

9月定例会は、9月5日から12日までの8日間を会期として開催しました。

町長からは令和4年度決算の認定、条例の改正、契約の締結・変更、令和5年度補正予算、人事案件、報告案件など25件の議案が提出されました。

議案の主な質疑内容は3～4ページ、審議結果(採決状況)は5ページに掲載のとおりです。

## [主な議案等の内容]

- 浪江町税特別措置条例の一部改正については、課税免除の対象となる固定資産の取得期間及び、不均一課税の対象となる固定資産の取得期間について、令和5年3月31日から令和7年3月31日まで延長するものです。
- 浪江町道路線の認定及び廃止については、防災林造成に伴い路線の認定及び廃止をするものです。
- 工事請負契約の締結のうち、**丈六ため池環境保全整備工事(再対策)【2億2,660万円】**は、令和元年から令和2年度にかけて放射性物質対策工事を行いました。対策後の大雨等の影響で再度、ため池内の放射性物質濃度が基準値を超えていることが判明したため、農業用ため池の管理を行う農業者の被曝を防止する目的として、放射性セシウム濃度が8,000Bq/kgを超える底質の除去を行うものです。**橋梁補修工事(慶応橋)【1億1,220万円】**は、幾世橋地区にある貴布祢の南側の高瀬川に架かる橋梁の舗装打替工、橋面防水工、伸縮装置取替工を行うものです。
- 補正予算のうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ13億1,854万7千円増額するもので、これにより予算総額は360億8,743万5千円となります。

## 主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

# 決算の認定

### 【1】決算の認定について

#### 【一般会計】

#### 【質問(山崎)】

①次世代自動車導入促進補助金実績を踏まえて、次世代自動車普及についてどう取り組まれるのか。ゼロカーボンシティに取り組む町として官民一体で取り組むべきと思いますが、補助金の制度の見直しについてどのようにお考えか伺います。②地域新エネルギー会社設立パートナー募集業務委託料について、パートナー企業公募に向けた応募要領などを精査したと記載がありますが、精査後公募まで実施できたのか伺います。

#### 【産業振興課長】

①補助金について単費で行っているところで、他の自治体から見ても多少多くという形ですので、財政当局と検討していくとともに、国等々の補助金も探りながら上乘せを考えていければと考えています。②公募要領等の精査を昨年度行いました。今年度はエネルギーに関しての社会情勢等がある中で、この精査をもう一度ブラッシュアップ※して、できれば今年度内に公募はしていきたいと作業を進めています。※ブラッシュアップとは、「磨きをかける」「より良くする」といった意味になります。

#### 【質問(紺野(榮))】

復興海浜緑地(多目的広場)について、「パークゴルフ場を整備し、避難先の町民や県内外からの多くの人を呼び込み、復興記念公園へと導く」となっていますが、復興記念公園と結ぶ施設とはどのように結びつけるのか、計画等を伺います。

#### 【生涯学習課長】

こちらは、完成しましたら、現在開設している請戸小の震災遺構と伝承館並びに復興記念公園を観光の拠点として連携しながら進めていくということと、パークゴルフ場につ

いては、復興記念公園の防災拠点のバックアップ機能としての連携も考えているところです。

#### 【質問(小澤)】

企業立地促進条例に基づく町独自の交付金ということで、町長は従来から、トップセールスで企業の立地に全力を尽くすと話をされていましたが、今後も引き続き企業のみならず、町内に住む従業員の方々を考え、努力をしていただければと思います。そのお考えについて伺います。

#### 【町長】

トップセールスという視点での企業誘致等については町長に就任以降、変わらぬ状況で私は考えています。今後もし引き続き自ら企業誘致、そして労働力の確保に努めていきます。労働力の視点ですが、今浪江町にお住まいの方々の労働力だけではなかなか確保は難しいという事業者からのお話も多く伺っています。広域的な視点から労働力の確保、総合的に言えれば、当町に移住していただく働き手も含めて今後進めていきたいと考えています。

#### 【質問(松田)】

町の相談窓口を通じて何名ぐらい移住しているのか、そして、移住定住を諦

めた人が何名いるのか。移住を始めて一、二年経過してから、出ていかれた方の理由等も分かれば伺います。

#### 【企画財政課長】

2022年度の実績で、19組で25件の方が、移住相談を窓口を通して移住まで結びついた成果です。移住を始めて住み始めたんですが、実際ちょっと思っているのと違うということも出てくるという方は、確かにいるということは聞いていますが、実際の数について集計しているものが手元にはありませんが、いただいたご意見を踏まえて分析をして、今後の施策の展開に反映させていきたいと考えています。

#### 【質問(紺野(豊))】

町内コミュニティ再生支援事業の自治活動の実施支援について、具体的に説明していただきたい。

#### 【総務課長】

請戸住宅団地の自治会の設立についての支援、各行政区での総会等の開催の支援です。

#### 【質問(渡邊)】

町税が4.3%増、法人税が43.6%減になった理由を伺います。

#### 【住民課長】

法人税の減額については、震災後に町内に進出し

た資本が比較的大きい法人の税額の減収が多いというところで、具体的には、震災後町内に進出し復興事業に携わってきた事業者の法人税額が減少しており、一定程度その事業が落ち着いてきていると分析しています。個人町民税の増加は、個人の所得で個別の問題が大きく関わってくるため一概に言えませんが、令和2年度、令和3年度については、新型コロナウイルスに関わる基本的な個人所得の減少などが見られ、それが徐々に回復傾向にあるのではないかと推測をしています。

(賛成全員で認定)

## 契約の締結

【60】工事請負契約の締結について(地デジ再送信システム復旧工事その2)

【6.380万円】

浪江町役場局と津島局にあるテレビ電波を受信するための設備及び受信した電波を光信号に変換する設備を利用し、

難視聴世帯まで送信する装置を設置します。また、大堀・小野田地区の難視聴地域に共聴伝送路設備を敷設する工事を行うものです。

**質問(山崎)** 小野田地区25世帯と大堀地区21世帯のケーブルを新しく引くことでよろしいか確認します。

**企画財政課長** 今回の工事については、自宅までの配線ではなく近傍の道路まで配線して、希望する方の自宅に配線できるように、あらかじめ近傍の路線までケーブルを引くという工事になっています。  
(賛成全員で可決)

**61**工事請負契約の締結について(さけふ化施設造成工事)  
【5,940万円】

内水面漁業振興のために小野田地区に整備するさけふ化施設に関わる造成工事をするものです。

**質問(高野)** 今回は、外構工事は入っていないという事でよいか。ふ化施設造成工事の完成予定がいつ頃か、何尾ぐらいの放流予定なのか伺います。

**農林水産課長** 外構工事につ

いては入っていません。造成工事の完成予定としましては令和6年3月22日までとなつていますが、全体の造成と建築と外構の完成時期は令和7年度内となっております。

放流予定数としては450万尾です。  
(賛成全員で可決)

**64**委託に関する契約の締結について(浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設整備事業業務委託)  
【53億1,850万円】

浪江町の復興まちづくりの推進に関する協定に基づき、浪江駅周辺地区一団地の道路・上下水道等の整備工事等や事業執行管理支援の業務委託をするものです。

**質問(小澤)** 契約の方法が随意契約となっておりますが、なぜか伺います。

**市街地整備課長** UR(独立行政法人都市再生機構)は、近隣の双葉町、大熊町でも同じような一団地整備の事業委託を受けています。

また、東日本大震災の復興事業において、岩手県、宮城県の

自治体からも一団地整備の事業委託を受けています。いわゆる被災地において本事業の経験を豊富に持つ事業者であり、事業委託に最適な事業者であると考えています。

(賛成全員で可決)

## 補正予算

**68**令和5年度浪江町一般会計補正予算(第3号)

**質問(山崎)** ①畜産施設用備品について、海外製の搾乳ロボットの前払い分として今回補正で計上し、7年度までの継続費を設定している。この納期はいつ頃を予定しているのか。②産学官拠点整備の調査のための委託料について詳細な説明を求めます。

**農林水産課長** ①畜産、牧場に関する備品に関しては、継続費を設定し、令和7年度まで計画的に導入していく予定です。今回の搾乳設備に関しては、納入時期は6年度末を目途に計画しています。

**産業振興課長** ②町内で活動

を考えている企業や大学などの連携を促し、新たな産業を長期的に生み出すため、拠点となる産学官連携施設の整備について、施設のニーズ、使い方や規模感などを調査するものです。

**質問(渡邊)** 移住推進費の地域協力隊分というはある程度予想して予算計上されているはずだが、予想していたよりも人数を多く採用したということ

で理解してよいか伺います。

**企画財政課長** 地域おこし協力隊活動支援業務委託料の補正の出身については、6年度からは起業型地域おこし協力隊として募集の仕方を検討しており、町の課題の確認や関係団体にいる意見や関係団体にいる意見を聞いて、募集要項等を作成し、採用からどういった活動をしていくか全体的なプランを作成するため、今回補正予算を計上しているものです。  
(賛成全員で可決)

## 諮問案件

一致  
全会  
で適任

**諮1**人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
次の方を適任としました。

瀧 美佐江氏(新任)

## 人事案件

賛成全員  
で同意

○特別功労者の決定について  
次の方々を決定することに同意しました。

吉田 数博氏(荻宿)

江畑 立行氏(樋渡)

畠山 勝氏(谷津田)

# 令和5年9月定例会の採決状況 (9月12日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
		武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	平本佳司	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重		
認定第1号	決算の認定について	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3
認定第2号	浪江町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第57号	浪江町税特別措置条例の一部改正について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第58号	浪江町公の施設の使用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15
議案第59号	浪江町道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第60号	工事請負契約の締結について (地デジ再送信システム復旧工事その2)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第61号	工事請負契約の締結について (さけふ化施設造成工事)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
議案第62号	工事請負契約の締結について (丈六ため池環境保全整備工事(再対策))	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第63号	工事請負契約の締結について (橋梁補修工事(慶応橋))	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第64号	委託に関する契約の締結について (浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設整備事業業務委託)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
議案第65号	工事請負契約の変更について (室原地区防災拠点新築工事(建築))	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第66号	工事請負契約の変更について (室原地区防災拠点新築工事(電気設備))	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第67号	工事請負契約の変更について (室原地区防災拠点新築工事(機械設備))	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第68号	令和5年度浪江町一般会計補正予算 (第3号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・4
議案第69号	令和5年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第70号	令和5年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第71号	令和5年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第72号	令和5年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第73号	令和5年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第74号	令和5年度浪江町水道事業会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
同意第1号	特別功労者の決定について	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
報告第4号	令和4年度浪江町一般会計継続費精算報告書について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第5号	一般財団法人福島なみえ勤労福祉事業団の経営状況報告について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第6号	一般社団法人まちづくりなみえの経営状況報告について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



※平本佳司議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。  
 ※閉会中の継続審査は採決を行いません。  
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



## 6 議員が質問

### ■高野 武 (7ページ)

- (1) 大平山霊園、先人の丘の通路改修工事の件について大字請戸行政区と町の関与全般の確認と疑問点を問う

### ■紺野 榮重 (8ページ)

- (1) ランカスター市、ハワイ郡との連携協定の件
- (2) 浪江駅周辺整備事業の件
- (3) 福島国際研究教育機構の件
- (4) 農業の件
- (5) 114号拡幅工事について

### ■佐々木 勇治 (9ページ)

- (1) 東京電力賠償金について
- (2) 放射線について
- (3) 有害鳥獣について
- (4) 生活支援について
- (5) 防犯について
- (6) 復興牧場について

### ■小澤 英之 (10ページ)

- (1) 大堀相馬焼について
- (2) 緊急通報システム事業について
- (3) DX (デジタルトランスフォーメーション) について
- (4) 生成AIについて

### ■山本 幸一郎 (11ページ)

- (1) 行政運営について
- (2) 町内の道路の管理について
- (3) 復興拠点の範囲、道路際の除染、解体、管理について

### ■佐々木 茂 (12ページ)

- (1) マイナンバーカードについて
- (2) 福島国際研究教育機構 (F-REI) について
- (3) 道路行政と下水道について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約してまいりますので、ご了承ください。

# 町政と問答

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。





たかの たけし  
**高野 武 議員**

**Q 大平山霊園先人の丘、改修工事不認可は本当か**

**A 工事についての認可はしていません**

**施工承認申請書**

**質問** 令和4年8月24日に本庁舎2階で請戸行政区と町との会合で、霊園先人の丘の通路改修工事の施工内容で、どのような指導をしたのか伺います。

**建設課長** 工事費用は行政区負担で問題ないか、総意の確認、町管理施設を管理者以外で工事するために施工承認申請書の提出、彼岸、お盆、年末年始は休工の要請と利用者への連絡方法等の打ち合わせをしております。

**質問** 施工承認申請書提出日は令和4年10月4日の日付、収受は同10月25日、この期間の空白は何を意味するのか伺います。

**建設課長** 資料を確認したところ、図面の不備や工事内容が不明確でしたので、図面の修正、追加を指示し、書類が揃ったのが収受の日付です。

**質問** 修正、追加をした、問題がないので確認の上収受した、請戸行政区では、早く工事を完了させて解散したいのを知っていたにも関わらず、なぜ問題がない書類をすぐに認可していただけなかったのか、町で発送した文書が届いた11月11日までの間の空白期間の説明を求めます。

**建設課長** 利用者へ発送する文書の作成、工事期間の確認、調整をし、起案記載を封入し、11日付で発送しました。

**成井副町長** 利用者の皆さま方、約390名おりますので、住所の確認等に時間を要しました。

**工事の財源問題と寄付行為**

**質問** 大字会計からの支出でも工事が出来るなら改修をやり、竣工後に町に寄贈したい旨の確認と、国の補助事業なので予算面で国と協議されたと思えますので、どのような指摘、指導を受けたのかを伺います。

**建設課長** 町の施設を工事する施工承認の申請許可の手続き

**建設課長** 繰り返になりま

で工事するような考え方で、寄付行為との認識はありませんでした。国とは通路舗装に伴う財産処分取扱いについて問い合わせをしており、予算面での協議はしていません。

**質問** 寄付行為は考えていなかった、ならば仮に工事が完了した場合の取扱いはどうなるのか伺います。

**建設課長** 工事施工承認という認識でした。

**質問** 財源も国の方で出せないと言っている以上、誰が負担するのか国の方に説明は求めたのか、国の回答を伺います。

**建設課長** 町単費であれば可能ということで、財源が国費でなければ工事は可能との認識です。

**質問** 町負担でと国に対し説明をしたということですが、ならば工事発注者は請戸行政区である必要はないとの認識なんです、答弁の整合性を伺います。

**建設課長** 繰り返になりま

すが、承認工事との認識で工事を進めました。

**成井副町長** 町がやるのか、行政区がやるかは各地方の問題で、国の方ではどの財源を使うかというのは、特に関与しないものと判断し話を進めていたところですが、町が発注するということではありませんでした。

**工事申請書取り下げ**

**質問** 取り下げの日付が本年6月2日付けなんです、現場職員2名の方が請戸区長宅を訪問し、総会での否決を確認し、区長より取り下げ届提出と、区長より説明を受けました、確認をしたいと思えます。

**成井副町長** 当日に取り下げ届の日付を6月2日付けとすることで合意しまして、届いたのが6月11日(日)です。



このえいしげ  
● 紺野 榮重 議員 ●

**Q** 浪江駅周辺事業は現在どのように進んでいるか伺います

**A** 令和8年度末の完成を目標としており、現時点では計画どおりに進捗しております

**質問** 買収はどのように進んでいるか総予算はいくらですか、開発全体に係る予算は幾らと考えているか伺います。

**市街地整備課長** 令和5年8月末の時点で約8割の契約をいただいています。基盤整備と用地買収費約140億円と見込んでいます。建築物はこれからです。

**質問** 浪江駅東西通路、JRとの協議はどのように進んでいるか伺います。町の負担は幾らですか。

**市街地整備課長** 令和5年10月協定締結を目標に進めています。自由通路は国費で、駅自体は浪江町の単独費の見込みです。

**質問** 公営住宅、民営住宅建設は予定通りに進んでいるか伺います。

**市街地整備課長** 計画どおりに進んでいます。現在公営住宅、民営住宅合わせて約100戸予定しています。

**質問** 施設の維持管理費は幾らと考えているか伺います。国の補助はありますか。

**市街地整備課長** 計算出来ませんが、木造建築については

約7年から9年に一度の塗装の塗り替えを考えています。国の補助はありません。

114号拡幅工事について

**質問** 114号国道は命の道路、避難道路、復興道路として重要な道路です。今後114号拡幅はどのような工程で進む

のか伺います。

**建設課長** 下津島地区から赤宇木地区迄3工区に分けて進めています。1工区は用地未取得であるので県と町とで協議していきます。

**質問** 原浪トンネルから葛尾に抜けるトンネルの計画を伺います。

**建設課長** 県道浪江三春線小出谷工区として約60mの橋梁と



現在の浪江駅

福島国際研究教育機構の件

約1・5km及び3・5kmのトンネルが計画されています。工事は今年度内に工事用道路が着手予定です。完成予定は完成の見通しが立った時点で示される予定です。

**質問** 浪江町の復興事業の大きな柱となるのが、国の進める国際研究教育機構です。全体面積16・9ha、年間運営費100億円、人員規模600人、波及効果が5,000人規模の雇用創出が予想されます。福島国際研究教育機構の進捗状況を伺います。

**市街地整備課長** 現在は地権者との測量成果の現地立ち合い作業等実施しています。

**質問** 町民理解にどのようなことをなされているか伺います。

**市街地整備課長** 町内各所へ概要の掲示、セミナーの開催にて理解促進を図っています。外国人研究者の増加を視野に、英会話教室などにも取り組んでいます。





さ さ き ゆう じ  
佐々木 勇治 議員

**Q** 東京電力の追加賠償金を一日でも早く受け取りたい方が大勢いますが、そんな方々に対しどのようなサポートをしているのか

**A** 町としては、ホームページ、広報等により請求手続の周知を行っています。また、電話、窓口、メールによる町への相談も多数寄せられており、ウェブ請求及び請求書作成の支援などを積極的に実施しています。

生活支援について

**質問** 来庁してきた町民に対して迅速な対応ができるように、「各窓口呼び鈴があれば良い」との声があるが、実行可能か伺います。

**総務課長** 窓口における住民対応は、来庁者が見えたら職員は直ぐに席を立ち、声をかけるなど積極的な対応に努めなければなりません。

来庁者が窓口でストレスを感じることもないよう改めて職員に注意喚起を行い、呼び鈴に頼ることなく、効率的で質の高い行政サービスを提供できるように業務改善に努めます。

**質問** 鹿児島県の保育園で、当時生後6か月だった女の子が、すりおろしたりんごを食べたあと窒息状態になり、意識が戻らないまま死亡した事故がありました。

にじいろこども園では、食事中や食後、昼寝をする際の口内は、誰がどのようなタイミングで確認しているのか伺います。

教育総務課長

こども園では、

園児の発達状況や体調に応じた食事等の提供を行っています。食事の介助が必要な園児については、保育士が一口ずつ食べ物飲み込んだことを確認し、自分で食事ができる園児については、保育士が注意深く観察の上、誤嚥防止に努めています。

また、栄養技師が摂食状況と安全の確認のために各教室を巡回し、昼寝の前には、3歳以上の園児は歯磨きにより、年齢の小さい園児は保育士の目視により、口の中に食べ物などがないことを確認しています。

**質問** こども園を利用しての保護者から、「なぜ、土曜日を利用出来ないのか」との指摘がありました。

毎年、入園する園児は増加し、土曜日の利用を希望する保護者も増加傾向にあると思われ、今後どのような対応をしていくのか伺います。

教育長

保育士の確保も困難な状況ですが、土曜日保育実施のためには保育士の増員も不可欠であり、今後、新たな採用と町関係課との調整を進め、実施に当たっての課題整理や運営方法も含めて検討します。

質問

県内では、大規模災害や事故、事件発生時に、通信障害や通話制限が少ない公衆電話の価値を見直す動きが出ていて、使い方講座に乗り出した学校もあります。

非常時に公衆電話を活用できる環境づくりは素晴らしいので、なみえ創成小中学校でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

教育長

防災教育などを通して、災害時の公衆電話の有効性について認識しており、実際の使い方を体験を通して学ぶことは有意義であると考えます。なみえ創成小中学校では、2学期に双葉警察協力のもと、防犯教室を実施しますので、公衆電話体験等の設定についても助言します。

防犯について

宅のカメラ付きインターホン設置も含めて、防犯のためにどのような補助や対策が可能なのか伺います。

**総務課長** 町では防犯対策として、町内全域にカメラの設置、民間警備会社及び防犯見守り隊による町内全域の巡回などの防犯対策に取り組んでいます。

また、個人宅のカメラ付きインターホン等の設置の補助については、住宅水道課で担当している住宅再建支援補助金の対象となります。

質問

南相馬市の住宅で高齢の夫婦が襲われた強盗傷害事件があったことで、住宅団地の住人から、「ドアスコープやチェーンを設置してほしい」との声がありました。

ドアスコープに限らず、個人

お ざわ ひでゆき  
● 小澤 英之 議員 ●



**Q** 多くの窯元が帰還し再建できるようにするための支援策は

**A** 窯元の皆様が大堀の地で、なりわいとして再開できるようにしっかりと対応したい

**質問** 陶芸の杜おおぼりの今後の活用策について伺います。

**産業振興課長**

現在は、大堀相馬焼の歴史や組合加盟窯元の作品展示をはじめ、震災の記録を伝える写真、大堀地区のジオラマの展示などを行っており、道の駅なりわい館を販売の拠点として機能を分担しています。

今後は、現地ワークスペースとしての活用や町内での共同生産拠点として、また定期的なイベント開催場所として活用し、大堀での産地再生を推進する拠



陶芸の杜おおぼり

点として活用したいと考えています。

**緊急通報システム事業について**



緊急通報システム  
(携帯電話型)

**質問**

緊急通報システムは、おおむね65歳以上の一人暮らしの方、高齢者世帯の方を対象として、急病や事故などの緊急時に、より適切で迅速な対応を図ることなどを目的としています。設置希望者への周知方法について伺います。

**介護福祉課長**

方法については、ホームページ等での周知案内をしています。また、民生委員、社会福祉協議会生活相談支援員、町巡回職員など、高齢者世帯などの訪問をした際に周知を行っています。

**DX(デジタルトランスフォーメーション)について**

**質問**

自治体DXは、デジタル技術を活用して行政サービスの改善や効率化、住民参加の促進を進める取組で、行政の効率性やサービスの質を向上させることを目的としています。当町におけるDXの現状の取組について伺います。

**企画財政課長**

外部講師による研修会を実施しています。また、職員によるDX推進検討委員会を設置しました。さらに、全ての部署を対象とした業務量調査を実施しており、業務量や業務構造を可視化し、そのデータを基に組織としての課題の抽出を行い、DXの推進に向けて取り組みたいと考えています。

**生成AIについて**

**質問**

生成AIは、利用者の趣旨に基づいて文章や画像、音声などを生成できる知能のことですが、業務への導入につい

て当町の考えを伺います。

**総務課長**

導入によって業務の効率化が加速するとともに、住民サービスの向上に資する可能性があると考えます。

一方で、根拠や著作権侵害への正当性、誤情報の拡散や情報漏えいなどのリスクも指摘されていることから、先行導入自治体への情報収集を行い、費用対効果も含め、導入の可能性について調査、検討及び研究を進めたいと考えています。

**質問**

教育現場への導入についての考えを伺います。

**教育長**

生成AIについては、様々なメリット・デメリットが指摘されており、現時点では、学校において児童・生徒の発達段階を踏まえるとともに、文部科学省のガイドライン及びチェックリストを基に、生成AIの効果を十分に検討した上で使用するように考えています。



やまもとこういちろう

山本幸一郎 議員

Q 町税が震災前に比べて大きく減っているが、どのように考えているのか

A 国・県に大きく依存していて厳しい状況と認識しています

行政運営について

**質問** 平成23年度と令和5年度の町税を比べると6億円減っています。その要因をお伺いします。

**住民課長** 個人住民税が減っている要因は住民登録者数の大きな減少が考えられます。ちなみに納税義務者数は震災前の平成23年度で9,172人、それから令和5年度で6,297人と2,875人程減っています。

また、固定資産税も震災の影響で家屋解体に伴い家屋数の減少、その上、土地においても評価額の減少など複合的な要因が考えられます。

**質問** 町税がなかなか増えない現在で、町長はどのように考えているかお伺いします。

**町長** しっかりとした基本的な考え方を基本にして、行政のスクラップ・アンド・ビルドを含めた無駄のない行政経営をしていかなければいけないと思っています。

**質問** 産業団地等に企業が進出しています。完成し、操業すれば町税はどのくらい増えるかお伺いします。

**産業振興課長** 産業団地の目

標としては、税金という捉え方ではなく、どれだけ立地事業数ということで目標を立てています。また、令和5年度においての税収予定見込みは8,000万円程度を見込んでいます。

町内の道路管理について

**質問** 国道・県道・町道があります。除草の管理の仕方が違っていますが、町はどのように認識していますか。また、安心・安全、きれいな道路だと思われませんか。お伺いします。

**建設課長** 国道・県道・町道、除草等の管理の仕方にあることは認識しています。国道6号線であれば磐城国道事務所、国道6号線以外の国道及び県道であれば富岡土木事務所に速やかに要望します。町道については、安全が確保できないところの要望があれば速やかに対応します。

特定復興再生拠点区域の範囲について

**質問** 特定復興再生拠点区域の範囲についてお伺いします。

**企画財政課長** 特定復興再生拠点区域の範囲ですが、室原地区は全体で1,669haのうち約349ha。末森地区は全体で270haのうち159ha。津島地区は全体で9,360haのうち153ha。3つ合わせて合計660haの復興拠点の範囲になっています。

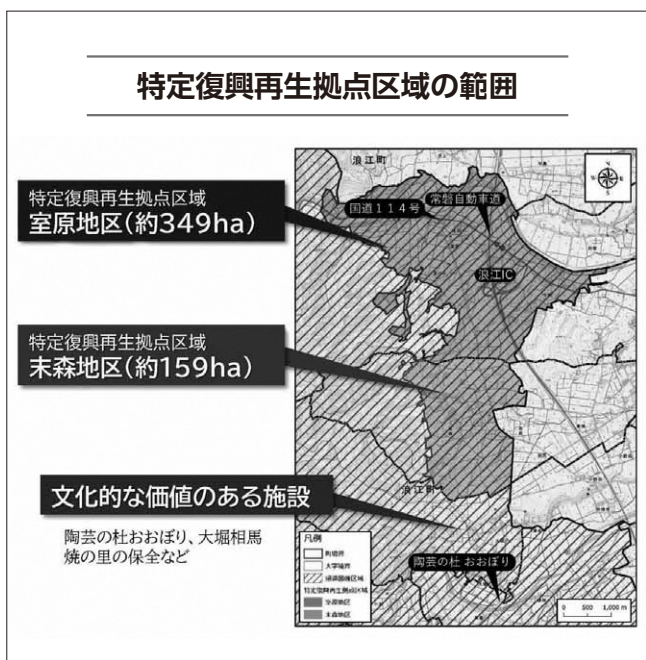
**質問** 室原地区は家老地区を除く全域。末森地区は全域が解除とされている人が多い。周知の方法をお伺いします。

**企画財政課長** 広報なみえの平成30年2月号において計画認定の旨の掲載をさせていただきます。

それ以降、町のホームページに掲載されています。令和5年1月から2月にかけて解除の説明会の際にエリアの説明が欠けていた部分もありますが、配布資料等で周知を進めてきました。

**質問** 特定復興再生拠点区域で、今回解除にならなかった山林の林道は除染していただけますか。また、この地区は白地地区にあたるのかお伺いします。

**企画財政課長** 特定復興再生拠点区域以外なので白地地区と呼ばれる地区になります。今の時点では、除染の方針が示されていません。



さ さ き しげる  
佐々木 茂 議員



**Q** マイナンバーカードの取得率の低い自治体について、国は地方交付税に差をつけると言っていますが当町は

**A** 地方デジタル社会推進費に対して取得率が算定として使われました。普通交付税は地方公共団体の財源の不均衡を調整し、さらに一定の行政サービスを提供する財源を保障する性質のものと認識しています。

マイナンバーカードについて

**質問** 浪江町職員及び町民のマイナンバーカードの取得率と取得率を伺います。

**住民課長** 職員171名の内139名が取得しており、取得率81%となっています。8月20日現在、町民の取得率は68%となっています。73・25%を超える自治体に普通交付税の上乗せを行った（県調査より）ということです。全国の市町村の3分の1が対象となりました。

福島国際研究教育機構（FIERE）について

**質問** FIEREが将来に渡り、当町にどのような影響があり、またどのように発展に寄与するのか伺います。

**町長** 現在60名の職員が勤務しています。少しずつではありますが、町内の様々な消費活動に貢献しています。さらに近い将来、経済効果も出てくるものと考えています。

**質問** FIEREからの税収がありますか。

**町長** 福島復興再生特別措置法に基づく特別法人であり、直接の税収は見込めません。FIEREの活動が進むにつれて研究者の増加や交流人口の拡大、関連する企業の立地など、波及効果が大きいものと考えています。

**質問** FIEREに係る税制について、議会に対する説明はされましたか。

**市街地整備課長** 令和4年8月に復興庁から税制改正要望がなされ、FIEREに係る必要の措置がされました。立地決定前の改正でしたので、町や議会に説明はされませんでした。

道路行政と下水道について

**質問** FIERE周辺の下水道の処理能力について伺います。

**住宅水道課長** 開発行為の申請が県に提出されると思います。排水予定水量等が示されれば改築等について確認していきます。

**質問** 浪江中学校跡地の防災拠点西側の道路拡幅はどのように考えていますか。

**総務課長** 筆界未定地が多くあり、手続きが複雑であり、用



改良が待たれる西台工区

地買収など時間を要します。FIEREの整備に併せて道路計画を判断したいと思えます。

**質問** 県道120号線について、セブンイレブンから酒田地区までの道路改良予定を伺います。

**建設課長** 浪江鹿島線西台工区は請戸川橋から酒田地区間約1kmの道路拡幅事業を実施中です。令和5年度に用地買収と一部改良工事を行います。

**質問** 高瀬川橋の改築計画を伺います。

**建設課長** 令和2年度に設計を完了しており、令和6年度以降着工の予定です。

**質問** 国、県及び町道の支障木等の伐採について伺います。

**建設課長** それぞれの道路管理者に、支障木について協議しながら、計画的に進めていきます。

## ● 総務常任委員会 ●



委員長 半谷 正夫  
副委員長 吉田 邦弘  
委員 小澤 英之  
佐々木 茂  
平本 佳司

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件（9月定例会中）を審議しています。

### ■ 総務課 ■ 防災行政無線は

**問** 電波の悪い場所はどうするのか。

**答** 防災行政無線、戸別受信機を取り付け、受信環境の改善を図りました。  
(令和4年度実績：15件)

### ■ 住民課 ■ 町内の個人私有地雑草除去は

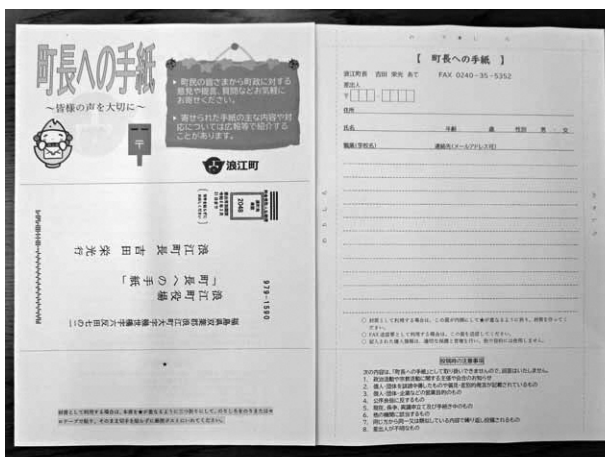
**問** 個人私有地の雑草はどうするのか。

**答** 11月頃から除草剤6,000個を、希望者、一世帯2kg入り（上限3個）を配布する予定です。  
※詳細については、住民課除染環境係（TEL：0240-34-0228）までお問い合わせ願います。

### ■ 総務課 ■ 町長への手紙の内容は

**問** どのような意見・要望がありましたか。

**答** 帰還困難区域の早期除染と解除。除草剤の散布。医療・介護の充実。子育て支援の充実。浪江駅の早期改修など、様々な意見が寄せられました。  
(寄せられた意見・要望58件(令和4年度実績))



広報に同封される町長への手紙

### ■ 住民課 ■ 仮設トイレの設置は

**問** 仮設トイレは何か所に設置し、清掃はどうなっているのか。

**答** 特定復興再生拠点を含む帰還困難区域に15か所仮設トイレを設置しています。清掃は週2回行っています。

### ■ 企画財政課 ■ 地域おこし協力隊は

**問** 地域おこし協力隊の活動内容は。

**答** 移住者としての視点で、浪江町の魅力をSNSでの情報発信、PR業務、町の課題解決に向けた様々な活動をしています。

## ● 産業・建設常任委員会 ●

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、市街地整備課、農業委員会が所管する案件（9月定例会中）を審議しています。

委員長 渡邊 泰彦  
副委員長 武藤 晴男  
委員 山本幸一郎  
松田 孝司  
紺野 榮重



### ■ 農林水産課 ■ 営農再開支援等の実績は

**問** 令和4年度の営農再開支援事業と実施した支援補助事業の実績は。

**答** 営農再開事業として、鳥獣被害防止緊急対策事業・営農再開に向けた作付け実証事業など、18項目の事業と、立ち上がる営農／歩み出す営農への支援事業により、農家への支援を行いました。  
営農再開率は、令和4年度の実績で21.0%、5年度見込みは26.9%です。  
令和4年度の立ち上がる営農支援事業受付件数は48件です。

### ■ 産業振興課 ■ 産業団地の進出状況は

**問** 各産業団地の進出状況は。

**答** 藤橋産業団地は、7区画中、内定含めて6区画が決まりました。  
北産業団地は、内定含め3区画すべてが決まりました。  
南産業団地は、11区画中、6区画が決まり、3区画が商談中です。  
棚塩産業団地は、内定含め4区画すべてが決まりました。

### ■ 市街地整備課 ■ 駅前周辺整備に係る進捗状況は

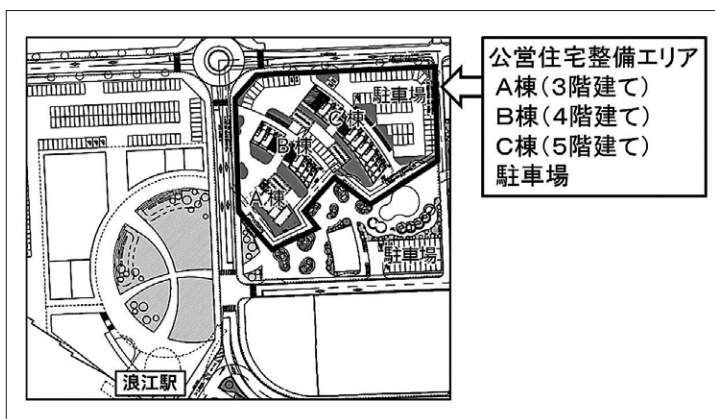
**問** 駅前周辺整備について、7月以降の進捗は。

**答** ① 8月10日に、一団地の復興再生拠点市街地形成施設整備事業業務委託の仮締結をしました。  
② 8月20日に、住民ワークショップ開催しました。  
③ 8月31日時点で、用地取得率約80%になりました。  
④ 10月頃に浪江駅東西自由通路・橋上駅舎整備について、JR東日本水戸支社と協定締結予定です。  
⑤ 秋頃から、景観計画策定業務に着手予定です。

### ■ 住宅水道課 ■ 再生賃貸住宅(権現堂地区)の整備計画は

**問** 浪江町再生賃貸住宅(権現堂地区)整備計画は。

**答** 基本設計に基づき整備戸数を75戸（間取り：1K、1LDK、2LDK、2LDKメゾネット）とし、令和8年度中の完成予定です。



公営住宅イメージ図

## ● 文教・厚生常任委員会 ●



委員長 佐々木勇治  
副委員長 紺野 豊  
委員 紺野 則夫  
高野 武  
山崎 博文

教育総務課、生涯学習課、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件（9月定例会中）を審議しています。

### ■ 浪江診療所 ■ 診療体制について

**問** 小児科の診療は始まるのか。

**答** 9月19日から、月1回の予定で始まります。そのほかの診療日以外についても、スマートフォンを使ったオンライン診療での対応を、検討しています。

**問** コロナ患者の受け入れは。また、風邪などの発熱外来の診療はどのようになっているのか。

**答** コロナ患者の受け入れはこれまで通りしています。風邪などの発熱外来については、予約制で、1日4人を目安に診療しています。

### ■ 介護福祉課 ■ 物価高騰対応生活困窮世帯 緊急支援金について

**問** 支援対象世帯は。

**答** 令和5年度住民税非課税世帯のうち、下記に該当する世帯です。  
・高齢者世帯（65歳以上で構成される世帯）  
・障がい者世帯  
・ひとり親世帯

**問** 支援金額はいくらか。

**答** 1世帯あたり6,000円になります。

### ■ 教育総務課 ■ 議案第58号 浪江町公の施設の使用に 関する条例の一部改正について

**問** なぜ見直しを行うのか。

**答** なみえ創成小中学校のグラウンドの運営管理の見直しに伴い、学校施設の使用の額を変更する改正を行うものです。

**問** 人工芝1時間1,000円徴収の根拠は。

**答** 町内のスポーツ施設の使用料との均衡を図るために、県内自治体の人工芝グラウンドの使用料を参考にしました。



なみえ創成小・中 人工芝グラウンド

### ■ 生涯学習課 ■ 各事業の進捗状況は

**問** 町営高瀬野球場のオープンセレモニーの予定は。

**答** 関係者等と協議しながら判断したいと考えています。

**問** 震災遺構の建物と調査はいつから始まるのか。

**答** 令和6年の予定です。

**問** 復興海浜緑地公園（多目的広場）のオープン予定は。

**答** 令和7年完成で、オープンは令和8年からの予定です。

**問** 二十歳を祝う会はいつまで行うのか。

**答** 毎年継続して行う予定です。

## ●産業・建設常任委員会視察研修報告●

## 視察者

委員長 渡邊 泰彦  
副委員長 武藤 晴男  
委員 山本幸一郎  
松田 孝司  
紺野 榮重

## 目的

復興からのまちづくりに当たり、浪江駅周辺グランドデザイン基本計画による駅周辺整備に隈研吾氏デザインによる施設等が整備されること等に伴い、住宅建設を含めた中心市街地整備や施設の維持管理等の先進地事例を視察研修し、これらの推進を図る。

## 視察日

令和5年8月23日(水)～24日(木)

## 視察先及び視察内容

## (1) 南三陸町議会 (宮城県)

## 「復興計画からのまちづくりについて」

南三陸町では、東日本大震災において、人的被害者831人、住宅被害3,321戸、農地被害462ha、漁船被害2,022隻に及んだ。

震災復興計画は、

《目標1》安心して暮らし続けるまちづくり  
《目標2》自然と共生するまちづくり  
《目標3》なりわいと賑わいのまちづくり  
の3つの目標で進められていた。

○住まいの再建（災害公営住宅8団地738戸、防災集団移転28団地827区画の整備）

○公共施設の再建（本庁舎、公立病院、総合ケアセンター、各学校などの再建）

○エコタウンへの挑戦（再生可能エネルギー、バイオマスエネルギー、ペレットボイラーの導入など）

○なりわいを取り戻す（水産業、商業、観光業などの再生）

などに取り組んできた。

3つの目標での震災復興計画のハード面は完成し、現在はソフト面の復興に力を入れている。

## (2) 陸前高田市議会 (岩手県)

## 「復興計画からのまちづくりについて」

陸前高田市は、東日本大震災の被災地において、最も浸水被害面積（約13km<sup>2</sup>）が大きかった。

震災前の人口は、約2万4,000人であったが、震災で約1,800人が犠牲になり、さらに人口流出も加速して、現在の人口は約1万8,000人になった。

「海と緑と太陽との共生・海浜新都市の創造」を基本理念として、平成23年12月に震災復興計画が策定され、令和3年度に復興事業が完成している。

主な事業としては、

1. 防潮堤等整備事業
2. 防災集団移転促進事業
3. 災害復興公営住宅等事業
4. 公共施設整備事業
5. 復興道路計画事業

などが完了している。



陸前高田市 アムウェイハウス

## 総括

南三陸町議会視察研修の成果として、隈研吾設計の3つの施設の説明及び現地の視察を行ったので、浪江駅周辺整備事業に研修の成果を活かしていきたい。

また、自然との共生している先進地を視察させていただいたので、当町においても自然と共生できる街づくりを考える手段として研修成果を活かしていきたい。

陸前高田市議会視察研修の成果としては、隈研吾設計の陸前高田アムウェイハウスの説明及び現地の視察を行ったので、浪江駅周辺整備事業に研修成果を活かしていきたい。

また、防災集団移転により公有地となった土地の再利用方法及び現地の視察を行ったので、当町の請戸・棚塩地区の公有地の再利用計画に研修成果を活かしていきたい。



# 議会活動の経過報告 7月11日～10月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

## 7月

- 19日 ・産業・建設常任委員会

## 8月

- 8日 ・議会運営委員会
- 16日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 17日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会 (富岡町)
- 18日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会 (富岡町)
- 22日 ・福島第一原子力発電所視察 (大熊町)
- ・全員協議会
- ・議会報編集特別委員会
- 23日 ・産業・建設常任委員会行政視察 (～24日)  
(宮城県南三陸町、岩手県陸前高田市)

- 28日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会定例会 (富岡町)

- 29日 ・議会運営委員会

## 9月

- 5日 ・9月定例会 (～12日) ※1
- 12日 ・議会運営委員会
- 22日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会全員協議会 (富岡町)
- 23日 ・町政懇談会 (町内、二本松市)
- 28日 ・全員協議会
- ・議会報編集特別委員会

## 10月

- 2日 ・町政懇談会 (いわき市、郡山市)
- 5日 ・議会報編集特別委員会
- 6日 ・町政懇談会 (仙台市、福島市)

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。



# 議長活動報告 6月7日～10月10日

## 6月

- 11日 ・葛尾村村制施行100周年記念式典 (葛尾村内)
- 19日 ・令和5年度双葉地方町村会・双葉地方町村議会議長会合同要望活動 (復興庁、他)
- 22日 ・復興副大臣と議会議長との意見交換会 (福島復興局)
- ・令和5年度浪江町行政区長会定期総会 (副議長出席) (役場大会議室)
- 30日 ・福島RDMセンター・グランドオープン (會澤高圧コンクリート㈱)

## 7月

- 12日 ・「令和5年度復興なみえ町十日市」第1回運営委員会 (浪江町商工会)
- 21日 ・浪江地区防犯団体連合会総会 (役場大会議室)

## 8月

- 8日 ・都市計画審議会 (役場大会議室)
- 9日 ・F-R-E-Iとの懇談会 (いこいの村なみえ)

- 12日 ・浪江町スポーツ協会野球部長杯野球大会 (ふれあいグラウンド)

- 18日 ・双葉地方町村議会議長会議 (双葉地方会館)

- 28日 ・ALPS処理水の海洋放出に関する要望 (役場町長室)

## 9月

- 3日 ・相馬野馬追保存会総会 (南相馬市役所)
- 10日 ・福島県消防協会双葉支部幹部大会 (広野町中央体育館)

- 19日 ・浪江町戦没者追悼式・慰霊祭 (まるあい斎苑)

- 27日 ・町復興大臣への要望 (役場町長室)
- ・農林水産大臣への要望 (NPO法人Jin)

## 10月

- 1日 ・浪江町消防団秋季検閲式 (地域スポーツセンター)

- 3日 ・浪江町高齢者福祉大会 (地域スポーツセンター)

- 7日 ・浪江にじいろこども園親子運動会 (にじいろこども園)

皆さまの声をお聞かせください

# 町民交流会

浪江町議会町民交流会を開催します

昨年に引き続き十日市祭において、屋内のブースで議員と町民の交流の場を設けます。町民の皆さまより議会に対するご意見をいただく大切な機会です。今回はアンケートも実施しますので、ご協力をお願いします。

多くの町民の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

日時

令和5年 **11月18日(土)** 午前10時から午後3時  
**11月19日(日)** 午前10時から午後3時

会場

浪江町地域スポーツセンター メインアリーナ  
(浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2)

問/浪江町議会事務局 TEL/0240(34)0254

## 福島第一原子力発電所を視察

令和5年8月22日(火)に福島第一原子力発電所を視察しました。多核種除去設備等処理水(A L P S 処理水)の海洋放出に係る放射線環境影響評価結果などの説明を受け、現状を確認してきました。



## 議会の傍聴について

本会議は、原則として一般に公開されております。どなたでも傍聴できますのでお気軽にお越しください。

本会議場入口に「傍聴人受付簿」を備えてありますので、必要事項を記入のうえ、議場後方の傍聴席で傍聴してください。

なお、多人数の団体で傍聴される場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

# 政務活動費支出状況（令和4年度分）

政務活動費とは、議員が実施する調査研究、研修、各種会議への参加などにより、町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動や住民福祉の増進を図るために必要な活動（政務活動）に要する経費に対して、申請により議員個人に交付されるものです。

交付基準は、次のとおりです。

1. 交付額1月当たり 5,000円
2. 政務活動費を充てることができる経費の範囲は、下の表のとおりです。

経 費	内 容
調 査 研 究 費	議員が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究（視察を含む）及び調査委託に要する経費
研 修 費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施（共同開催を含む）に要する経費 2 団体等が開催する研修会（視察を含む）、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
広 報 ・ 広 聴 費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会 議 費	1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資 料 作 成 費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資 料 購 入 費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事 務 費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人 件 費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

### 3. 支出内訳

議 員 名	武藤晴男	紺野 豊	吉田邦弘	平本佳司	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂
交 付 額	60,000	60,000	0	60,000	0	60,000	60,000	0
支 出 額	調 査 研 究 費	25,750	16,650				50,200	
	研 修 費							
	広 報 ・ 広 聴 費							
	要請陳情等活動費						31,240	
	会 議 費							
	資 料 作 成 費							
	資 料 購 入 費							
	事 務 費							
人 件 費								
合 計	25,750	16,650					81,440	
精算（返金）額	34,250	43,350		60,000		60,000	0	

議 員 名	山本幸一郎	高野 武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	佐々木恵寿
交 付 額	0	0	60,000	0	60,000	0	60,000	60,000
支 出 額	調 査 研 究 費							29,750
	研 修 費							
	広 報 ・ 広 聴 費			26,600		39,695		99,490
	要請陳情等活動費							
	会 議 費							
	資 料 作 成 費			45,742				
	資 料 購 入 費							
	事 務 費							492
人 件 費								
合 計			72,342		39,695		99,490	30,242
精算（返金）額			0		20,305		0	30,000

※支出額が交付額に満たない議員については、精算額として返金済です。

※佐々木恵寿議員については、辞職につき、6か月分の精算額となっております。

# 町民の声



高田 秀光さん  
(室原)

## 百年後の まちづくりへ

あれから12年2か月。やっと室原の家に戻った。永かった。あの12年は何だったんだろう。

私にとって経験のない時間でした。また、この期間中には、いろいろな経験、人間の行動、関係を身をもって知る。嬉しいこともありましたが、見知らぬ土地での生活は大変でした。

いつ浪江に戻れるのかと、情報の少なさで、未知の災害の大きさ、自分の生活基盤をどう築いて行くべきか日々悩んでいました。一時帰宅の度に農地は荒れ、壊れた住宅、生活感のない町並み、本当に町は再生できるのか、先が感じ取れなかった。  
5年くらい経つと徐々に元の町並みが見えてきたと感じました。

あと10年くらいしたら室原に住めるようになるのではないかと思います。南相馬市にある復興住宅に移り住み、帰郷の日を心待ちしております。

今はインフラ整備も道も整い、企業進出もあり、商店、診療所も出来たが、まだ十分とは思われませんが、何よりも先に住民が戻らなければ進展しないと思います。元の浪江町に戻るのには、早くても30年後のように私には思いません。その頃はいいですが。

町の発展には企業誘致は欠かせませんが、先端技術の水素の利用拡大は必要だと思います。町の会社、個人が毎日の生活に利用できるように開発すべきだと思います。また、福島国際研究教育機構の営業開始が早ければ、住民帰還に促されると思います。

機構が十分発展すれば、研究職員の育成もおのずと必要になるでしょう。そのためにも専門育成機関が欠かせません。大学の設立を目指すべきとも思います。浪江町を学園都市にするように目指せば、若者の町を創り、発展と急進するのではと思います。町を創るのは道路整備です。100年後の町を夢見て高速道路

路の複線化、県庁への道路拡張整備、工業団地道路の利便性、請戸漁港の充実等など必要かと思えます。その上で、おのずと人が集まる町になると考えます。

ただ農業は、今大変な時だと思います。大規模経営が求められる現実、農地の大型化、経営のグループ化、機械の大型化、不安が先に立ち、なかなか決められない状況です。これも集落で話し合いを十分していかねければならない時です。

これらの諸問題は、100年後を目指し、町民の代表議員が住民の意を多くでも取り上げ、浪江町を牽引されることを願うばかりです。

### 「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局 (☎0240-34-0254) または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

## 編集後記

全国各地で自然災害が発生しております。現在、お住まいの地域における状況などをハザードマップで確認し、自然災害への備えをしましょう。また、万一発生した場合は、すみやかに身の安全を確保しましょう。

議会報を担当し2年が経過しました。町民の皆様にごできるだけ分かりやすく、親しみやすい紙面にしたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。(小澤)

### 発行責任者

議長 平本佳司

### 議会報編集特別委員会

委員長 松田孝司

副委員長 小澤英晴

委員 武藤晴野

委員 小武紺吉野

委員 紺野邦則

委員 野田弘夫

